

2018年度 図書館実務担当者研修会 ワーキングA 活動概要

テーマ	レファレンスツールとしての電子資源・インターネット情報の活用法		
概要	レファレンスツールとしての電子資源・インターネット情報の活用法を講義と実習を通して学ぶ。本ワーキングでは、以下の能力を身につける端緒となることを想定している。 ・目的に合致したオンラインレファレンスツールを自ら探索・評価し、利用方法を習得する能力。 ・オンライン情報に慣れ親しんだ利用者からレファレンスインタビューにより情報要求を引き出し、適切なツールを選択・紹介する能力。		
講師	佐藤 翔 氏	所属	同志社大学 免許資格課程センター 准教授

事前活動	<ul style="list-style-type: none"> ●自己紹介 (ML) ●事前課題 1. 課題資料 ① 鷲見克典, 四谷あさみ. 調べるためのウェブサイト評価: インターネット時代の情報リテラシー: 調べるサイト評価尺度 WEI. 三恵社, 2007, 144p. ② 佐藤翔, “ウェブ情報源の評価”. 情報の評価とコレクション形成. 日本図書館情報学会研究委員会編. 勉誠出版, 2015, p.53-70. (わかる! 図書館情報学シリーズ, 2) 2. ワークシート提出 資料①で紹介されている「調べる Web サイトの評定尺度 Web サイト評価インベントリ」を用いて、以下の4つのウェブサイトについて評価し、結果を指定のワークシートに入力して提出する。 <ul style="list-style-type: none"> ・カレントアウェアネス・ポータル http://current.ndl.go.jp/ ・PubMed https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/ ・怪異・妖怪画像データベース http://www.nichibun.ac.jp/YoukaiGazouMenu/index.html ・図書館の基礎知識：ブログ http://toshokanron.jugem.jp/ 		
研修会当日	【1日目】	1. 事前課題の講評 2. 講義1 レファレンスツールの評価とオンライン情報資源に特有の観点 3. 講義2 現代の利用者の傾向とレファレンスインタビュー時の注意点 4. ワーク1 レファレンスツールの探索と評価	
	【2日目】	5. ワーク2 レファレンスインタビューの実施と回答作成 6. 全体会発表者の選出と準備 7. 講評	
	【発表】	代表4名がWEIでの評価・レファレンスインタビューの実技を通して得た新たな知見、今後の業務への展望について発表した。	
事後活動	特になし		
そのほか (特記事項等)	特になし		

担当委員※	田中 宏樹	所属	金城学院大学
担当委員	大橋 梨沙	所属	人間環境大学
担当委員	澤木 ひとみ	所属	名古屋女子大学
担当委員	前田 利明	所属	同朋大学・名古屋造形大学
担当委員	山本 稔	所属	同朋大学・名古屋造形大学

※はワーキング責任者